| 教科 | 科目 | 単位数 | 学年 | 集団 |
|----|--------|-----|----|---------|
| 理数 | 理数数学特論 | 2 | 3 | 総合探究科理系 |

| 使用教科書 | 副教材等 | | |
|-------|--|--|--|
| | 3 TRIAL数学Ⅱ+B、Ⅲ+C(数研出版) 白チャート数学Ⅱ+B、Ⅲ、C(数研出版) | | |

科目の目標

- 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
 (1) 数学における基本的な概念や原理・法則の系統的な理解を深めるとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能に習熟するようにする。
 (2) 事象を数学的に捉え、論理的・統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を伸ば
- 、。 (3) 数学のよさを認識し、数学を積極的に活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、事象を 数学的に探究しようとする態度を養う。

評価の観点とその趣旨 ・数学における基本的な概念や原理・法則を系統的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 ①知識·技能 ・事象を数学的に捉え、論理的・統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明 瞭・的確に表現する力を身に付けている。 ②思考·判断·表現 ・数学のよさを認識し、数学を積極的に活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ③主体的に学習に 取り組む熊度 事象を数学的に探究しようとしている。

評価方法

- ① 小テスト、課題テスト、定期テスト、課題等の記述内容の点検
- ② 定期テスト
- ③ 小テスト、①②における評価に基づき総合的に評価する。

学習計画

| | 1 BH M | | | | | | | |
|-------------|----------|--|---|-------|-----|---|--|--|
| 月 | 単元名 | 休田数 乳 妻 頂 日 | 単元や題材などの内容のまとまりごとの学習目標 | 評価の観点 | | | | |
| 月 平儿石 | | 使用教科音項目 | 単元で超例などの内谷のよとよりことの子自日標 | | (2) | 3 | | |
| 4 | ベクトル | 数学C第1章 | ・事象をベクトルの考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 | | | 0 | | |
| | 平面上のベクトル | 平面上のベクトルの意味, 相等, 和, 差, 実数倍, 位置ベクトル, ベクトルの成分表示について理解することができる。 | 0 | | | | | |
| | | | ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解することが できる。 | 0 | | | | |
| | | | 実数などの演算の法則と関連付けて,ベクトルの演算法則を考 察することができる。 | | 0 | | | |
| 5 | | | ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて, 平面図形の 性質を見いだしたり, 多面的に考察したりすることができる。 | | 0 | | | |
| | | | 数量や図形及びそれらの関係に着目し、日常の事象や社会の事 象などを数学的に捉え、ベクトルやその内積の考えを問題解決 に活用することができる。 | | 0 | | | |
| 6 | | 数学C第2章 | ・事象をベクトルの考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 | | | 0 | | |
| | | 空間のベクトル | 座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理 解することができる。 | 0 | | | | |
| | | | ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて,空間図形の 性質を見いだしたり,多面的に考察したりすることができる。 | | 0 | | | |

| | 料学しし眼の活動 | Т | 1 明の江針におけて料当のトンと知識 1 一様・お用工で料当 | | | |
|-------------|------------------------------|----------|---|---|---|---|
| 9 | 数学と人間の活動 | 数学A第3章 | ・人間の活動における数学のよさを認識し、様々な場面で数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 | | | 0 |
| 9 | | 数学と人間の活動 | 数量や図形に関する概念などと人間の活動との関わりについて 理解すること | 0 | | |
| | | | 数量や図形に関する概念などを,関心に基づいて発展させ考察 すること | | 0 | |
| | 数学ⅡⅢBCの内容の 中心とした問題演習 | | 設問の考察を通して数学を体系的に理解するとともに、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、物事を探究ことができるようになる。 | 0 | 0 | 0 |
| | 数学ⅢⅢBCの内容の | | 設問の考察を通して数学を体系的に理解するとともに、数学的 | | | |
| | 数子11 m b C の内谷の 中心とした問題演習 | | な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、物事を探究ことができるようになる。 | 0 | 0 | 0 |
| | 数学ⅢⅢBCの内容の 中心とした問題演習 | | 設問の考察を通して数学を体系的に理解するとともに、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、物事を探究ことができるようになる。 | 0 | 0 | 0 |
| | 数学ⅢⅢBCの内容の | | 設問の考察を通して数学を体系的に理解するとともに、数学的 | | | |
| 1 | 中心とした問題演習 | | な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、物事を探究ことができるようになる。 | 0 | 0 | 0 |
| 2 | 数学ⅢⅡB Cの内容の 中心とした問題演習 | | 設問の考察を通して数学を体系的に理解するとともに、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、物事を探究ことができるようになる。 | 0 | 0 | 0 |
| 3 | | | | | | |